

昭和52年度

学校要覧



校歌

一、ああ わが姫路城

播磨平野を 見おろして

高くそびえる 天守閣

幾百年の 面影とどめ

国の宝と 仰がれる

二、ああ わが城南校

北は高峰 書写の山

南は深き 播磨灘

清き市川 東を流れ

古き歴史の 光あり

三、ああ この大偉観

民主日本の 旗のもと

文化の華と 咲きかおれ

教えの旨を 心にきざみ

学びの道に いそしまん



姫路市立城南小学校



沿 革 の 概 要

明治 6年 1月	創設 則地学校(船場本徳寺内)	
9年 8月	城南小学校(福中内新町)	児童数 1051 (県下第1等大規模校)
20年 4月	城南尋常小学校 小学校令公布前	児童数 — 2060
	公布後	児童数 — 859
41年 4月	城南尋常高等小学校(十二所前町)	
45年 4月	城南小学校	児童数 — 914
大正 7年 1月	読方教育研究発表会	
昭和 5年 8月	明治神宮外苑球場 大日本少年野球大会優勝	
16年 4月	城南国民学校	児童数 1500
20年 7月	被 戦 災	
21年 4月	城南小学校	
21年 9月	旧歩兵第十聯隊跡に仮校舎(本町68)	
21年10月	旧歩兵四十六部隊跡(本町68)、十二所前町に仮校舎	
24年10月	県・市教委より健康優良学校として表彰を受ける(S.24~34)	
25年 9月	校舎新築(十二所前町)	児童数 — 1380
26年 3月	道徳・躰け教育研究発表会	
26年 9月	文部大臣より学校給食優秀校として表彰を受ける	
26年12月	県教委指定 学校給食研究発表会	
27年10月	創立80周年記念式典(創立80周年記念誌発行)	
30年 3月	市教委指定 社会科教育研究発表会(郷土読本 姫路Ⅰ発行)	
31年 4月	郷土読本 姫路Ⅱ発行	
33年10月	新校舎起工式(本町68)	児童数 — 1852
34年 4月	新校舎に移る(現校舎)全学年移転完了5月 開校記念日5月27日	
36年11月	県教委指定 視聴覚教育研究発表会	
37年 4月	障害児学級(精薄)新設	
38年10月	近畿図書館教育研究発表会	
39年 9月	難聴学級新設	
39年 9月	鍵っ子教室開設	児童数 — 1240
41年 7月	玄関前庭、中庭学習園完成	
41年 9月	難聴学級増設1	
42年12月	地学園、気象園完成	
43年 4月	難聴学級増設1	児童数 — 1156
46年 3月	飼育舎完成	
46年 6月	プール完成	児童数 — 888
46年12月	豊かな創造性をめざして《思考力を育てる学習指導》研究発表会	
47年11月	県造形教育研究大会	
47年12月	創立百周年式典挙行、各教室カラーテレビ設備、視聴覚室整備	
48年 3月	温室新設	
48年 4月	言語障害学級新設1	
49年 3月	水禽舎新設	
50年 2月	向城の門(南門)完成	
50年 4月	言語障害学級増設1	児童数 — 802
51年 3月	記念教室設置(AV第1教室)	
51年 9月	講堂本校の専用となる	
52年 2月	講堂修復・整備完了	
52年 3月	AV第2教室増設	
52年 4月		児童数 — 737

—— 教 育 計 画 ——

教 育 目 標

- 育てたい子どもの姿
 - ものごとを正しくみつめ、すじみちをたてて考える子。
 - 力を合わせて学び合い、正しいことを見抜く子。
 - 健康と安全の保持増進に努める子。
 - 困難なことにも立ち向かい、進んで実行する子。
 - 美しさに感動でき、素直に感謝する子。

経 営 目 標

- めざす学校の姿
 - ひととひとの触れあいをたいせつにする学校。
 - たがいに厳しく、磨きあう学校。
 - 日々新たな創造的な学校。
 - 地域の信頼にこたえる学校。
- つくりたい学校環境
 - おちつきと調和のある学校。
 - 古い歴史の中に新しいいぶきのある学校。
 - 指導と管理の行き届いた学校。
- 求める教師の姿
 - 教育に対する正しい使命観と児童に対する深い愛情と強い行動力を教育活動の源泉とする教師。
 - 豊かな人間性を身につけ、広い教養と視野に立って物ごとを考える教師。
 - 進んで職能上の研修を重ね、専門職としての深い知識と高い技術を身につけ、常に意欲的に教育実践に取り組む教師。
 - たがいに親和し、つねに集団の中で自己を高めることに徹するとともに、たがいに協力して教育の実をあげ、児童の教育を語り合うことを最高のよろこびとする教師。

努 力 目 標

- ものごとを正しくみつめ、すじみちをたてて考え意欲的に学習と取り組む態度を養い、たしかな基礎学力を身につけよう。
- つねに健康でよりいっそう努力する意志と実行力を育てよう。
- 心を豊かにし、相手の立場を尊重し、みんなで力を合わせて生活の向上をはかる協調性と感謝の心を養っていこう。

指 導 の 重 点

(1) 教 科

- ア. 教科の本質に即して、学習内容を精選し、「学習の手引き」「学習のしおり」を作成して、学習の課題を明確にし、基礎学力の定着をはかる。
- イ. バズ学習理論をとり入れ、全員参加による自主協同学習の実践を促進し、自ら学びとる態度と力を養う。
- ウ. 教育機器を活用して、情報提示の内容や方法の多様化をはかるとともに常にフィードバックして学習意欲を高める。
- エ. ひとりひとりの障害に応じた指導にはげみ生活に適應する能力や自分で生活を切りひらく力を育てる。

(2) 道 徳 (同 和)

- 人間尊重を基盤として、ひとりひとりが生き抜く力の育成をめざす教育をおしすすめる。
- ア. 同和学習で、部落差別の本質を理解し差別の解消に結びつく能力態度を身につけさせる。
- イ. 人権尊重の態度を養い生活の中にある差別の本質を鋭く見抜く力や差別を自分の問題としてとらえる力を育てる。
- ウ. 差別をみんなの力でなくしていこうとする連帯意識をもった集団を育てる。

(3) 特別活動

ア. 児童活動

児童会、クラブ、学級会の組織を整備し、発展段階に応じて自発的に所属団体の活動に参加し、その向上に貢献する個性的、創造的な活動を盛んにする。

イ. 学級指導

ひとりの問題をみんなで解決し、仕事を仲良く分担する。節度あるすばらしい学級を育てる。

ウ. 学校行事

目標を明確にし、児童の自主性と創意工夫を尊重して綿密な計画のもとに、調和と統一のある多彩な行事を実施して、学校生活に変化とうるおいを与える。

(4) その他（健康、安全指導、生活指導等）

ア. 保健衛生思想の普及と躰の徹底をはかる。

イ. 戸外運動、かけ足を奨励して、積極的に心身を鍛練する。

ウ. 集団登校・集団下校を指導して交通事故の防止に万全を期す。

エ. 集団生活における個人の責任の自覚と躰の徹底をはかる。

オ. 自然に親しみ、いのちを育てる場を大切にして、豊かな情操を養う。

学校管理の重点

親や、児童の願いや期待にこたえて校風の樹立刷新に努め、確かな城南教育を確立する。

- (1) 人的、物的な教育条件の整備改善につとめ、適正かつ効率的な活用をはかり、日々新たな学校を創造する。
- (2) 各教師の特性や能力を生かして育てる配慮と、人間同志の触れあいを大切にして、職場の志気を高揚する。
- (3) 学校経理については、常に計画性をもち適正かつ公正な執行に努め、事務的処理は機を失わず敏速に行う。

学級編成

年 組	児 童 数			
	男	女	計	
1	1	17	18	35
	2	17	19	36
	3	18	19	37
	計	52	56	108
2	1	16	19	35
	2	17	20	37
	3	17	18	35
	計	50	57	107
3	1	20	18	38
	2	21	18	39
	3	20	19	39
	計	61	55	116
4	1	20	25	45
	2	21	24	45
	3	21	23	44
	計	62	72	134
5	1	18	16	34
	2	17	18	35
	3	16	17	33
	計	51	51	102
6	1	18	23	41
	2	16	24	40
	3	17	23	40
	計	51	70	121
小 計	327	361	688	

(障害児学級)

	学 年 計	児 童 数		
		男	女	計
難 聴 (1)	1	0	2	2
	2	2	3	5
	計	2	5	7
難 聴 (1)	3	3	3	6
	4	3	1	4
	計	6	4	10
難 聴 (1)	5	4	2	6
	6	2	4	6
	計	6	6	12
言 語 (2)	1	6	1	7
	2	2	0	2
	3	2	0	2
	4	1	0	1
	5	0	0	0
	6	2	0	2
計	13	1	14	
精 薄 (1)	1	0	0	0
	2	0	0	0
	3	3	0	3
	4	0	0	0
	5	0	2	2
6	1	0	1	
計	4	2	6	
小 計	31	18	49	

合計	男	女	計
	358	379	737

歴代校長

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 根岸 謹七郎 | 2. 岡村 邁 | 3. 橋本 義達 |
| 4. 池田 信勝 | 5. 佐藤 弘毅 | 6. 池田 信勝 |
| 7. 松本 静吾 | 8. 品川 悠三郎 | 9. 五十嵐 力 |
| 10. 篠崎 則発 | 11. 岩谷 栄太郎 | 12. 長谷川 安太郎 |
| 13. 岩谷 栄太郎 | 14. 藤本 菊次 | 15. 三田 虎次 |
| 16. 高島 耕三 | 17. 高谷 一次 | 18. 西村 俊治 |
| 19. 多田 初治 | 20. 三輪 礼三 | 21. 北山 春二 |
| 22. 花岡 愿 | 23. 神田 繁 | 24. 吉本 一郎 |
| 25. 永井 辰夫 | 26. 高馬 正則 | |

教職員一覽

項目 職名	氏名	担任	校務分掌	研究科	本校在 職年数	住所
校長	高馬 正則				1	
教頭	石原 貢		総務	理科	0	
教諭	富田てる子	●1-2	●保健主事 ●給食主任	●国語	0	
"	中川 たつ	●2-2	同和主任	●同和	2	
"	三木 やすこ	●言語1	●言語主任	言語 体育	1	
"	永井 守	●6-2	●教務主任	社会	5	
"	森本 俊和	●5-2	●研修主任	●理科	2	
"	小暮 国夫	●4-2	●学習指導主任	●算数	0	
"	谷村 登志男	●3-3	●生活指導主任 ●校地経営	●社会	6	
"	山本 剛	言語2	●視聴覚主任	理科	11	
"	小笠原一恵	4-1	教科書 教育扶助	社会	0	
"	堀江 廣實	6-1	●図書館主任	●作文	7	
"	沢田 映子	3-1	教務・掲示	●音楽	4	
"	赤垣 美智子	5-1	●掲示教育 ●聴覚教育	●習字	0	
"	大畑 稔	●難聴5・6	●環境整美	算数	3	
"	福田 典子	2-1	就学奨励	理科	8	
"	山下 美佐子	1-1	視聴覚・諸集会	算数	2	
"	中野 美保子	精 薄	●精薄教育	国語	6	
"	安積 収	4-3	●体育主任 ●防災主任	●体育	2	
"	常陰 友子	1-3	就学奨励	社会	1	
"	平井 均	5-3	●校内生活指導	●特活	1	
"	田中 誠	6-3	●交通安全主任	●図工	1	
"	津野 敬子	専家庭	教務・清掃	●家庭	1	
"	橋本 ゆみ子	難聴1・2	給食・校地経営	算数	3	
"	山本 百合子	2-3	掲示・清掃	図工	2	
"	小谷 孝司	難聴3・4	交通安全・写真	算数	1	
"	西影 祐一	3-2	防 災	理科	1	
"	水田 玲子	専音楽	視聴覚	音楽	0	
養護教諭	長谷 迪子	養 護	●保 健	●養教	2	
主 査	松田 貞男	事 務	●事 務	●事務	7	
用 務 員	松尾 正夫	用 務			6	
調 理 師	大澤 貞子	学校給食			5	
"	辰 芳子	"			3.7	
育 友 会 副 理	占部 君子	事 務			5	
友 一 務 一 理	東野 祖明	用 務			0	
會 務 下 員 一 理	平出 美登里	学校給食			0	

【注】●印は主任

歴代育友会長

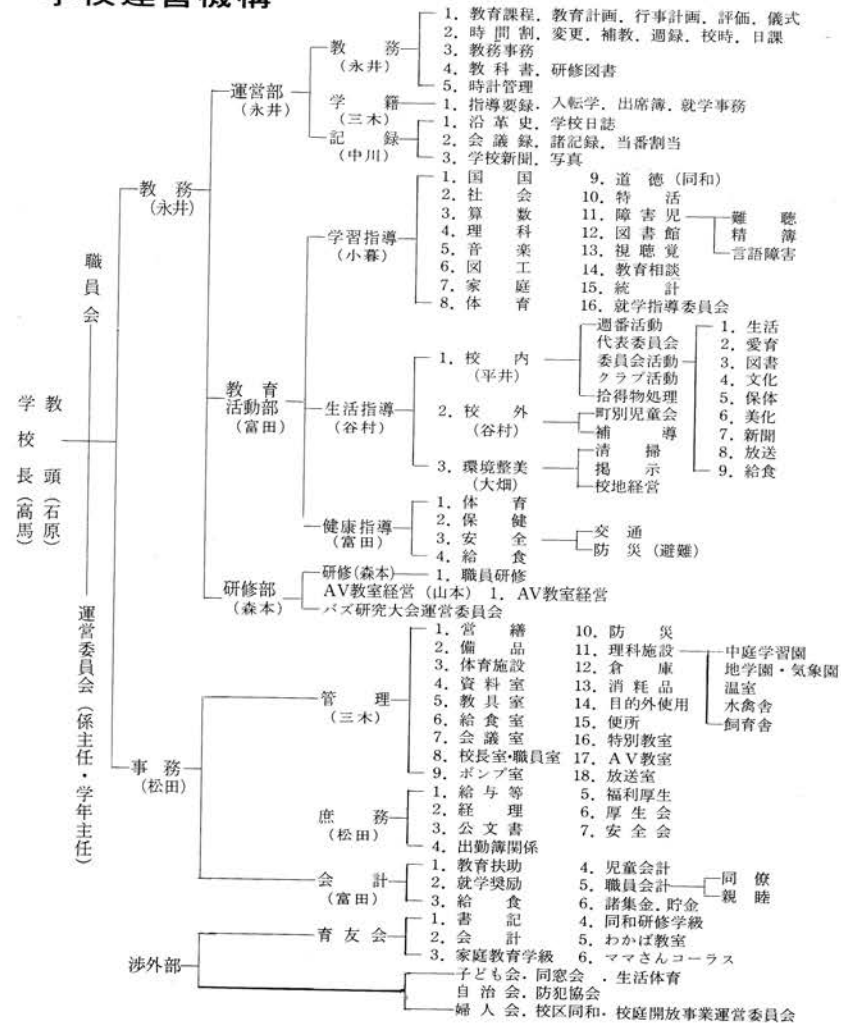
- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 近藤 寅夫 (昭・23~25) | 2. 山野 健 (昭・26~28) |
| 3. 多胡 檜祐 (昭・29) | 4. 三和 義一 (昭・30~32) |
| 5. 岸本 秀雄 (昭・33~34) | 6. 井上 章 (昭・35~37) |
| 7. 横山 忠雄 (昭・38~39) | 8. 川崎 峯男 (昭・40~41) |
| 9. 鎌谷 忠一 (昭・42~43) | 10. 有本 益大 (昭・44~45) |
| 11. 脇坂 弘道 (昭・46) | 12. 山野 昭一 (昭・47) |
| 13. 堀田 通郎 (昭・48) | 14. 水野 昭二 (昭・49~50) |
| 15. 原 辰男 (昭・51) | 16. 高橋 弘郎 (昭・52) |

年間主要行事

月	学校行事	月	学校行事	月	学校行事
4月	始業式 入学式 身体測定 家庭訪問 交通安全指導 校医検診	8月	林間学校 水泳記録会	12月	避難訓練 終業式
5月	歯牙検診 眼科検診 卒業旅行 歓迎遠足 開校記念日 全校写生会 ひろば発行	9月	始業式 運動会 ひろば発行	1月	始業式 就学児健康診断 耐寒訓練 交通安全指導
6月	避難訓練 体力測定 プール開設準備	10月	修学旅行 リレーカーニバル参加	2月	球技大会 避難訓練 音楽会
7月	学校水泳 交通安全指導 終業式 町別懇談会	11月	全国バズ学習研究大会 草花展示会 全校写生会 連合音楽会	3月	お別れ遠足 卒業式 終業式 ひろば発行

昭和52年度

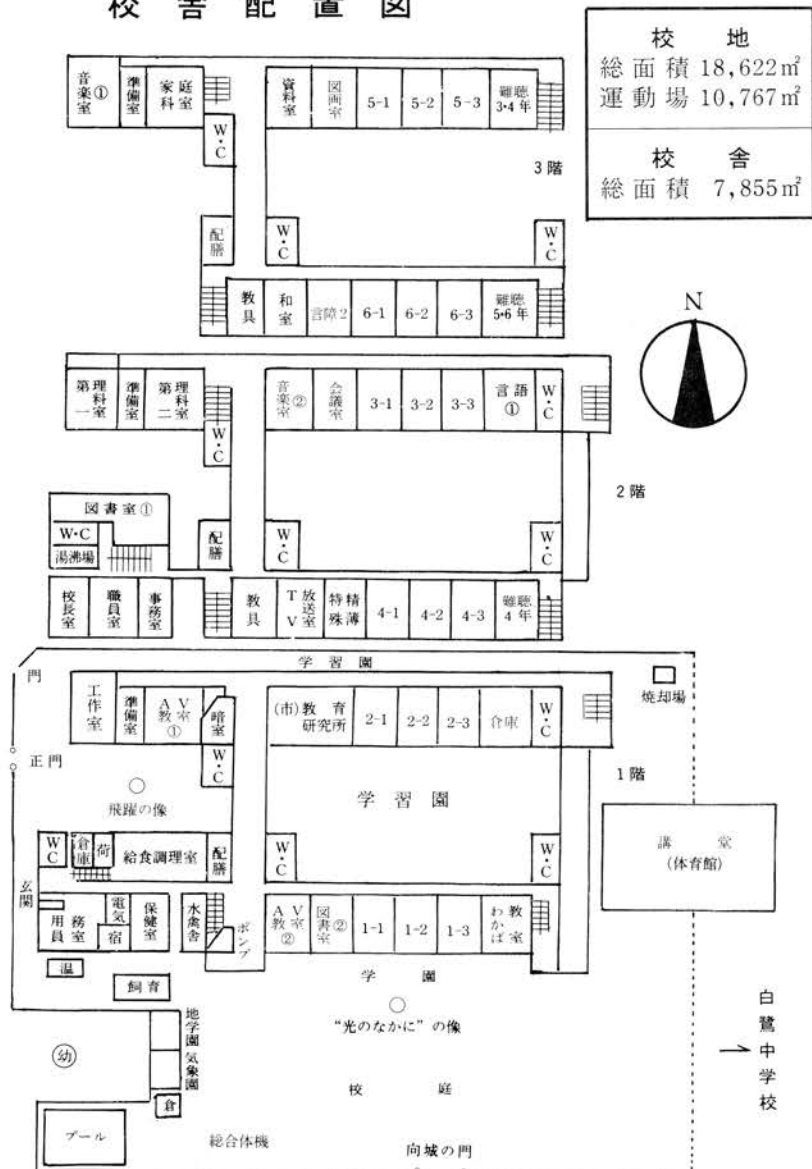
学校運営機構



校区の概要

- ① 22町よりなる。
- ② 校区は市の中心部である。国鉄姫路駅より白鷺城に至る大手前通りの東西にまたがり（東に2町、西に20町）北は白鷺城より、南は駅（駅南に1町）に至る地域である。商店街（一部は食料品問屋街、飲食、娯楽の繁華街）を主とした本市を代表する商業地域であるが、又都心の住宅地ともいえる3町（県営住宅2町、鉄道・営林署の官舎1町）もある。
- ③ 昭和20年7月の戦災で校区の大半は焼失し、城下町の面影はなくなったが、装いも新たに商店街は復興し、旧軍用地には住宅群が誕生した。其の後の経済事情の推移により、一部商店はビル化、駐車場化し、職住分離による都心のドーナツ化現象が進行している。しかし、白鷺城、長壁神社、十二所神社等の文化遺産と、それにまつわる伝統的な郷土行事を残す新旧が混在する校区でもある。
- ④ 校区民の城南校に寄せる誇りと愛情は強烈で、校区諸団体一体となって学校に協力的である。したがって、学校と諸団体の関係は緊密である。

校舎配置図



姫路市立城南小学校位置

